

2019 年度 連携総合ゼミの実際(場所未定)

オリエンテーションと 5 日間の演習は概ね、以下のように進めます。

1 日目のオープニングオリエンテーションと 5 日目の発表会は、参加者が一同に会して実施しますが、それ以外の内容はゼミごとの活動となります。学生と教員でよく話し合ってスケジュールを決定して下さい。発表会に至るまでの時間配分や役割分担に注意を払って計画的に進めることが大切です（巻末資料 3）。

日	時限	内容
8 月 9 日 場所 未定	4 限	オリエンテーション 1. 開会の挨拶 2. 連携総合ゼミスケジュール 3. モジュールの説明・グーグルスライドの利用方法 4. 事前評価について 5. 写真撮影と個人情報の利用範囲について 6. アイスブレイキング 7. 各ゼミ別オリエンテーション
夏休み中		事前学習 1. グーグルスライド等でのチームメンバーとの情報や意見の交換 2. 自己学習（演習する事例の特性、社会資源、自分の目標、学習内容、覚え書き等）
9 月 2 日 (1 日目) 場所 未定	2 限	オープニングオリエンテーション 1. スケジュール確認と連絡事項 2. メンバー確認 3. 他大学参加者・見学者の紹介 4. 用語集の説明 5. 発表会について 6. 外部講師によるミニレクチャー 井口清太郎先生（新潟大学大学院地域連携学講座） 7. 文具配布
	午後	活動開始 1. 今後の活動についてグループで活動計画を立案する。ファシリテータは学生とともに検討し、修正を加える。（活動計画） 2. 事前学習を基に自分の専門知識について発表し、話し合い共有する。 3. 1 日の学生行動、学習したこと、チームワークについてなどを学生、ファシリテータとともに振り返る。（リフレクション） 4. 明日の活動計画
9 月 3 日 (2 日目) 各教室	午前	前日の行動計画にそって情報収集 1. 各専門領域の資料の提示・確認し（報告）、ディスカッション（共有）する。 2. 事例をより深く知るために、資料の収集、専門家の講話聴取、病院・施設の訪問、対象者のインタビュー、対象者の生活圏の観察、ビデオ視聴等を行う。（情報収集） 3. 個人学習
	午後	対象者の支援策を立案 1. 各専門領域の資料の提示・確認し（報告）以下の事項について全メンバーでディスカッション（共有・協働）する。 各専門領域から問題点の提示 共通する問題点の抽出

		問題点解決のための支援策の検討 2. 個人学習 3. リフレクション 4. 明日の活動計画
9月4日 (3日目) 各教室	午前	前日の行動計画にそって情報収集 1. 各専門領域の資料の提示・確認し(報告)、ディスカッション(共有)する。 2. 事例をより深く知るために、資料の収集、専門家の講話聴取、病院・施設の訪問、対象者のインタビュー、対象者の生活圏の観察、ビデオ視聴等を行う。(情報収集) 3. 個人学習
	午後	コーヒーハウスへの参加(グループ全員で参加し海外参加国の大学について知る) 対象者の支援策を立案 1. 各専門領域の資料の提示・確認し(報告)、以下の事項について全メンバーでディスカッション(共有・協働)する。 各専門領域から問題点の提示 共通する問題点の抽出 問題点解決のための支援策の検討 2. 個人学習 3. リフレクション 4. 明日の活動計画
9月5日 (4日目) 各教室	午前	対象者の支援策を立案 1. 各専門領域の資料の提示・確認し(報告)、以下の事項について全メンバーでディスカッション(共有・協働)する。 各専門領域から問題点の提示 共通する問題点の抽出 問題点解決のための支援策の検討 実現可能な支援策を立案 具体策を提起 2. 対象者のQOLを高めるため、対象者中心の視点から収集した資料の整理、確認を行う。(情報収集) 3. 発表資料作成(PPT、大洋紙、ビデオ、実演など自由)
	午後	発表準備 1. まとめ 2. 発表資料作成(PPT、大洋紙、ビデオ、実演など自由) 3. 発表準備(発表者、発表方法の決定、発表練習) 4. リフレクション 5. 明日の発表スライドの提出
9月6日 (5日目) 場所 未定	午前	発表前打ち合わせ、最終確認、練習 発表会(午前) 1. 発表会で発表する 2. 各グループが所定の要領(別紙参照)に基づいて発表する。 3. 他のグループの発表を聞き積極的に質問する。
場所 未定	午後	発表会(午後) 1. 発表会で発表する。 2. 各グループが所定の要領(別紙参照)に基づいて発表する。 3. 他のグループの発表を聞き積極的に質問する。 4. 発表物、用語集の提出 5. リフレクションで自らの経験を意味づける。 6. 他大学参加者修了書授与(学長より) 7. 事後評価、授業評価